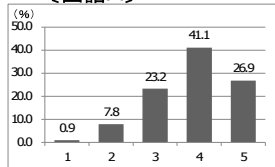


【別紙様式】

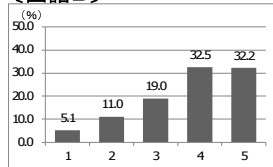
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

奄美市教育委員会

【小学校】
〔国語A〕



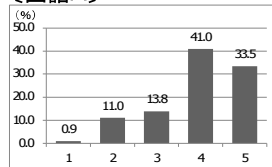
〔国語B〕



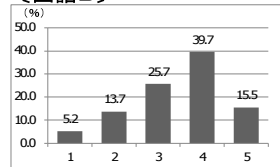
〈課題〉

- ・A問題の分布状況は全国と同様である。B問題は4・5段階の分布が全国より若干多かった。
- ・漢字を正しく書く、文中の主語・述語を正しく捉える等、基礎的・基本的な知識・技能の定着に課題がみられた。
- ・目的や意図に応じ、内容を整理しながら記事を書くことに課題がみられた。報告文や新聞を書くといった活動の充実が必要である。

【中学校】
〔国語A〕



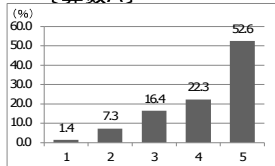
〔国語B〕



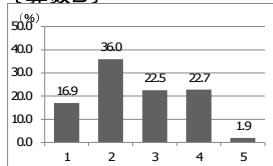
〈課題〉

- ・A問題においては、分布範囲が広く、学力差が大きい状況であるといえる。B問題は全国平均同様の分布であるが、若干1・2段階の生徒が多い状況である。
- ・漢字の読み書き、単語の類別等、基礎的・基本的な知識・技能が十分に定着していない部分がある。
- ・適切な情報を取り出し、自分の考えを具体的に書いたり、根拠を明確にして書いたりすることに課題がある。

〔算数A〕



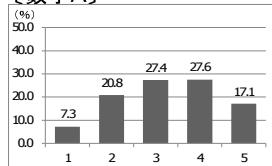
〔算数B〕



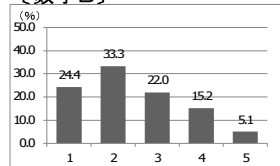
〈課題〉

- ・A問題の分布状況は全国と同様である。B問題もほぼ全国の分布と同様であるが、若干5段階の分布が少ない。
- ・基礎的・基本的な知識・技能は身に付いているが、それらを十分に活用できていない。B問題の7割が正答率50%未満である。
- ・示された情報から、合理的かつ適切に判断し、基準量、比較量、割合等、数量の関係を求める問題の正答率が低い。
- ・根拠となる事柄を過不足なく説明することに課題がある。

〔数学A〕



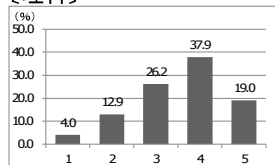
〔数学B〕



〈課題〉

- ・A、B問題共に1・2段階の割合が多い状況である。特にB問題は、上位層が薄く、知識・技能を十分に活用できていない状況である。
- ・数量や数量の関係を文字式で表したり、文字式の計算をしたりするような基礎的な技能の定着を更に図っていく必要がある。
- ・判断の理由を数学的な表現を用いて説明したり、問題を解決する方法を数学的に説明したりすることに課題がある。

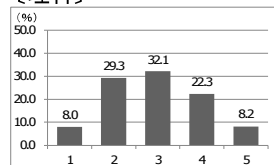
〔理科〕



〈課題〉

- ・分布の状況は全国と同様である。また、「知識」に関する問題、「活用」に関する問題ともに、正答率は全国平均を上回った。
- ・メダカの雌雄に関する問題は9割の児童が正答した。実際に育てたり観察したりする活動を通して、理解の定着が図られたものと思われる。
- ・科学的な概念やデータを基に考察し、結論や判断の根拠、理由等を明確に示しながら、自分の考えを説明することに課題がある。

〔理科〕



〈課題〉

- ・4・5段階の分布が薄く、1・2段階の分布が多い状況である。基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、全体的に学力の向上を図っていく必要がある。
- ・基礎的・基本的な知識・技能を活用して、自然の事物や現象について考えたり説明したりすることに課題がある。
- ・観察・実験の結果を分析して解釈することに課題がある。

【改善策】

○ 昨年度に引き続き、本市の「学力向上に向けた授業改善5つの方策」の周知徹底を図り、授業改善に向け、重点的な指導を継続する。

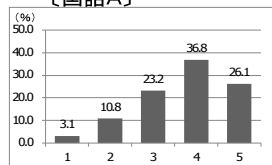
- 〔小学校〕 (国語科) ・学ぶことの目的意識をもたせる学習問題(課題)の設定と課題解決に必要な言語活動の工夫・改善
・学んだことや理解したことを実感できるような学習のまとめと理解の状況を把握するための確実な見届けの実施
- (算数科) ・文章や絵図を使って、自分の考えたことを話したり書いたりする活動の重視
・学びの深まりを実感できるような学習のまとめと理解や習熟を図るための確実な見届けの実施
- (理科) ・考察したことや判断したことを、観察や実験の結果を基に事実や解釈を示して説明する活動の設定
・学んだ知識を身の回りの自然や実際の生活に当てはめて考える活動の充実
- 〔中学校〕 (国語科) ・読み取った情報を整理し、理由や根拠を明確にして自分の考えを条件や制限に即して論理的に書く活動の充実
・基礎・基本を確実に定着させるための見届けや、習熟を図るための時間の確保
- (数学科) ・文字式など、数と式に関する内容の生活場面に即した問題への取組や繰り返し学習の実施
・自力解決やペア・グループでの考察を、判断の根拠や理由を明確にし、数学的な表現を用いて説明する活動の設定
- (理科) ・物質の名称や化学式等、基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるための能動的な学習活動の実施
・問題解決的な学習を促す課題の設定と予想や仮説を設定し検証する実験の実施
・自力解決したことやグループで考えたことを、科学的な根拠を示し、事実と考えを区別して説明する活動の設定

【別紙様式】

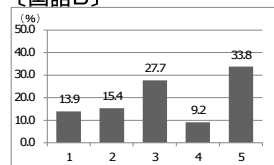
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ、課題、改善策)

瀬戸内町教育委員会

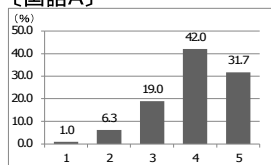
【小学校】
〔国語A〕



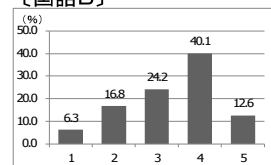
〔国語B〕



【中学校】
〔国語A〕



〔国語B〕



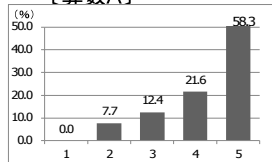
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A(知識)については概ね定着が図られているが、B(活用)では、中位～下位層にかけてが多く、本町の子供たちは知識を様々な場面で活用する能力の定着が不足している状況にあると言える。
・「要旨を的確に捉えて書く」や「気持ちの変化を想像しながら音読する」など、十分に思考し、表現することに課題があり、日々の学習の中での一層の指導の充実が求められる。

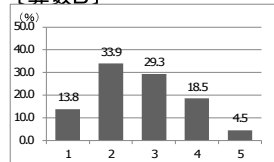
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A(知識)については概ね定着が図られているが、B(活用)では、上位層が少なく、中位～下位層にかけてが多い。本町の子供たちは知識を様々な場面で活用する能力の定着が不足している状況にあると言える。
・「資料を活用して話す」や「自分の考えを具体的に書く」など、思考力や表現力、その中でも特に表現力に課題があり、国語を中心に全教育活動の中での指導の充実が必要である。

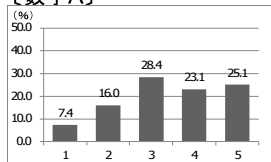
〔算数A〕



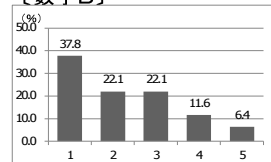
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



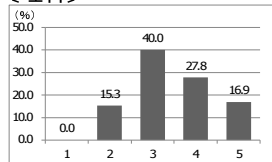
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A(知識)、B(活用)ともに概ね定着が図られているが、B(活用)では、上位層よりも中位～下位層にかけてが多く、本町の子供たちは知識の活用や数学的な考え方の定着が不足している状況にあると言える。
・「図形の性質を記述する」や「正三角形の性質を基に考えを書く」など、図形についての見方・考え方や表現の分野に課題があり、全学年を通して系統的に指導していく必要性を感じる。

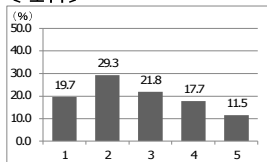
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A(知識)についてはどのように定着が図られているが、B(活用)では、中位～下位層にかけてが多く、本町の子供たちは、知識の活用や数学的な見方・考え方の定着が不足している状況にあると言える。
・「情報選択的に的確に処理する」や「説明する」、「証明する」など、数学的な見方・考え方、表現力に課題があり、日々の学習の中での一層の指導の充実が求められる。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

・5段階の分布状況については、全般的に概ね定着が図られているが、上位層が少なく、本町の子供たちの定着の確実性が弱い状況にあると言える。
・「条件を制御しながら実験・観察を構想する」や「実験・観察の結果から考察・分析する」など、科学的な思考力についてや、「実験・観察器具の適切な扱い方」についても課題が見られ、日々の学習の中での一層の指導の充実が求められる。

〈課題〉

・5段階の分布状況については、中位～下位層が多く、本町の子供たちは基本的な学習内容について、まだまだ定着が不足している状況にあると言える。
・「質量や抵抗の大きさを計算して求める」など、知識を活用して思考することや、理由や根拠、考察などを「説明する、記述する」など、表現力について課題が見られ、日々の学習の中での一層の指導の充実が求められる。

【改善策】

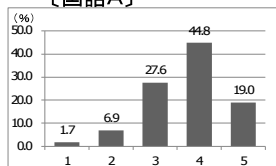
- 今後以下に示す事項について、本町の学力向上施策の実施の重点として、各種研修会や指導助言等を通して積極的に取り組んでいく。
- 〔小学校〕(国語科) ・ 比較したり、関係付けたりしながら自分の考えを文に書いたり、発表したりする場を意図的・計画的に取り入れた学習指導
・ 効果的な読み方を工夫しながら実際に音読させる場面を意図的・計画的に取り入れた学習指導の充実及び読書指導の充実
(算数科) ・ 教材教具の工夫やICT機器の活用等による、視覚的に理解しやすい図形に関する指導の充実
・ 理由を記述することや自分の考え方を記述、説明するなど、表現する場を意図的・計画的に設定した学習指導の充実
(理科) ・ 実験・観察の結果から、根拠や理由を明確にしながらか考察・分析させ、考えを書いたり説明したりする活動の重視
・ 安全面の指導も含め、実験・観察器具の適切な操作を重視した学習指導
- 〔中学校〕(国語科) ・ 自分の考えを根拠を明確にして書いたり、発表したりする表現活動を意図的・計画的に取り入れた学習活動の充実
・ 状況や目的に応じて、情報や材料を整理したり分類したり、活用して話し合ったりする学習活動の充実
(数学科) ・ 情報を関連付けたり、必要な情報を選択したりしながら、問題解決する過程を重視した学習活動の充実
・ 問題解決の方法や学習の振り返りを自分の言葉で書いたり、発表したりする活動を意図的・計画的に取り入れた学習指導
(理科) ・ 実験・観察の結果から、根拠や理由を明確にしながらか考察・分析させ、考えを書いたり説明したりする活動の重視
・ 知識を活用しながら計算でデータを求める活動を重視した学習活動及び基本的計算力の向上

【別紙様式】

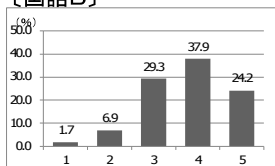
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

龍郷町教育委員会

【小学校】
〔国語A〕



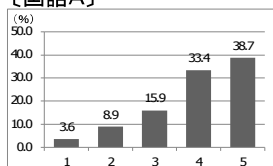
〔国語B〕



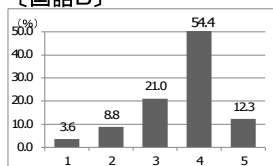
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題・B問題ともに3の段階、4の段階が多く、全体的な底上げが必要な状況にあると言える。活用や上位層の伸びに課題がある。
- ・目的に応じて、情報を整理したり、取捨選択したりして表現を工夫すること、文章と図を関係付けて自分の考えを書くことに課題がある。

【中学校】
〔国語A〕



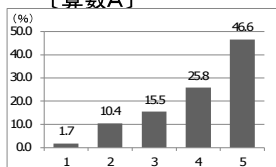
〔国語B〕



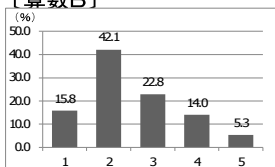
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題では、4と5の段階が8割弱であるが、B問題では3の段階、4の段階が多く、全体的な底上げが必要な状況にあると言える。活用や上位層の伸びに課題がある。
- ・聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話すこと、文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。

〔算数A〕



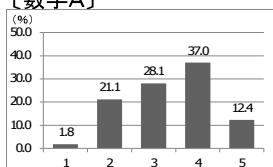
〔算数B〕



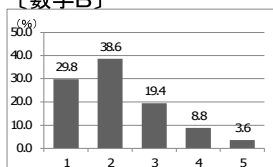
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題では5の段階が最も多くなっているが、B問題では2の段階が多く、活用力を身に付けさせる抜本的な授業改善が必要な状況にあると言える。
- ・示された情報を整理、解釈し、問われていることについて根拠を明確にして答えることに課題がある。
- ・無回答の割合が全国や県に比べると高い。見直しをもって解決していく指導の充実が求められる。

〔数学A〕



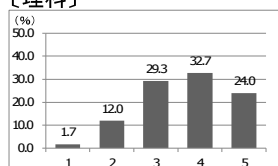
〔数学B〕



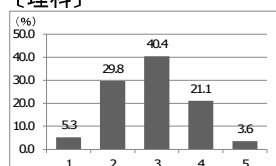
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題では、3の段階、4の段階が多く、基礎的・基本的な力が十分に身につけていない状況にあると言える。また、B問題では下位層が多く、抜本的な授業改善が必要な状況にあると言える。
- ・関数の意味を理解すること、問題解決の方法や、事柄が成り立つ理由、資料・式等から考察した結果等を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、3の段階、4の段階が多く、上位層の伸びとともに全体的な底上げが必要な状況にあると言える。
- ・実験・観察により調べたデータを視点をもって考察して分析することに課題がある。
- ・明らかになった情報を基に、他の事象に適用することに課題がある。
- ・器具の基本的な操作方法についての指導の充実が求められる。

〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、中位層・下位層が多く、全体的な底上げとともに授業改善が必要な状況にあると言える。
- ・見出した課題を基に、適切な課題を設定することに課題がある。
- ・事象の変化の理由を説明したり、課題に対する適切な考察を記述したりすることに課題がある。

【改善策】

○ 今後、「質の高い授業」を目指し、以下に示す事項について、本町の学力向上施策の実施の重点として取り組むようにしていく。

- 〔小学校〕（国語科）
- ・目的や意図に応じて話し合ったり、根拠や自分の立場を明確にして伝え合ったりする活動の充実
 - ・目的や意図に応じて必要な内容を引用したり、関係付けたりして自分なりの考えを書く指導の工夫
- （算数科）
- ・問題解決に必要な情報や根拠などを明確にし、見直しをもって学習を進める指導の充実
 - ・自分なりの考えを説明したり、お互いの考えを比較・検討したりする活動の重視
- （理科）
- ・根拠や理由を明確にして自分なり考えを説明する活動の重視
 - ・対象や目的に応じて実験・観察器具を十分に操作する活動の重視

〔中学校〕（国語科）

- ・目的に応じて伝えたい内容を適切に書く指導の工夫
- ・目的に応じて文章の特徴を捉える指導の工夫

（数学科）

- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実

（理科）

- ・立体や関数など基礎的・基本的な内容の系統的・計画的な復習

（国語科）

- ・ねらいを明確にした「必要感」のある学びの充実（導入の工夫）

（数学科）

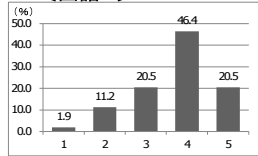
- ・根拠や理由を明確にして自分なり考えを説明する活動の重視

【別紙様式】

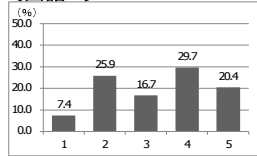
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ、課題、改善策)

喜界町教育委員会

【小学校】
〔国語A〕



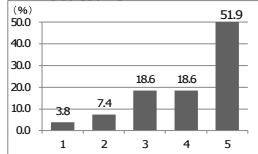
〔国語B〕



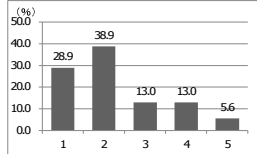
〈課題〉

・5段階の分布状況については、国語Aは4・5段階が半数以上を占めていることから基礎的・基本的な内容はほぼ理解できているが、国語Bでは1・2段階の割合が高いことから、活用力においては、個人差が大きい状況といえる。
・指定された条件に合わせて、必要事項を漏れなく文章に表現する記述式の問題の通過率が特に低い傾向がある。授業の中で、50字程度の文章でまとめ、発表する活動を意図的・計画的・継続的に取り入れ、表現力を高めることが必要である。

〔算数A〕



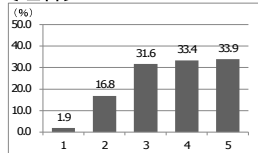
〔算数B〕



〈課題〉

・5段階の分布状況については、算数Aは5の割合が高く、基礎的・基本的な内容はほぼ理解できているが、算数Bは、1・2段階の割合が高いことから、活用力において課題が見られる状況といえる。
・理由を説明したり、証明したりする記述式の問題の通過率が特に低くなる傾向が見られる。また、問題場面を把握し、学んだ知識を活用していくことを苦手としている。
・日常生活との関連を図りながら、既習事項を活用して問題を解いたり、筋道立てて文章で説明したりすることに課題が見られる。

〔理科〕



〈課題〉

・5段階の分布状況については、ほぼ全国平均なみで、3・4の割合が高くなっている。
・学習して獲得した知識を実際の自然や日常生活に当てはめて考えたり、選択した事項について理由等を文章で表現したりする問題の通過率が特に低く、課題が見られた。
・予想したことを図で示したり、実験結果をもとに適切な考察をしたりするなど一連の問題解決的な活動の各場面で必要とされる思考力・表現力に課題が見られた。

【改善策】

○ 今後、以下に示す事項について、本町の学力向上施策の実施の重点として取り扱うようにしていく。

【小学校】

〔国語科〕・新聞や多様な読み物など読書に親しませるとともに、自分の意見や理由等について条件を踏まえて50字程度でまとめる表現力を育成していくような取組を充実させる。

〔算数科〕・問題場面を適切に把握し、既習事項を基に解決の見通しをもって課題解決に当たったり、自分の解決方法について説明したり、理由を書いたり、論理的に証明したりする活動を意図的・計画的に取り入れ、指導の充実を図る。

〔理科〕・問題解決の各過程における言語活動を充実させ、予想したことを図で示したり、実験結果を基に適切な考察をしたりするなど一連の問題解決的な活動の各場面で必要とされる思考力・表現力を育成する。

【中学校】

〔国語科〕・基本的な用語の理解を図るとともに、記述式の問題にも粘り強く取り組んでいけるように、授業の中で自分の意見や理由等を書いて表現する場を意図的に設定する。また、新聞や多様な読み物など読書に親しませることで読解力を高める。

〔数学科〕・基礎的・基本的な学習内容の確実な定着が図られるように個に応じた指導を徹底するとともに、上位層をさらに伸ばす取組の充実を図る。

・問題場面を適切に把握し、既習事項を基に解決の見通しをもって課題解決に当たったり、自分の解決方法について説明したり、理由を書いたり、論理的に証明したりする活動を意図的・計画的に取り入れ、指導の充実を図る。

〔理科〕・学習して獲得した知識を実際の自然や日常生活に当てはめて考えたり、選択した事項について理由を文章で表現したりする学習活動の充実を図る。

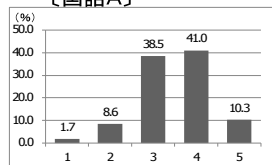
・自然の事象・現象とモデルの対応を認識したり、予想を確かめる実験を条件を制御して計画したり、科学的に探究したりする場面での言語活動の充実を図る。

【別紙様式】

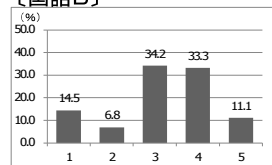
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ、課題、改善策)

徳之島町教育委員会

【小学校】
〔国語A〕



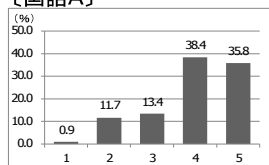
〔国語B〕



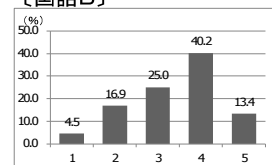
〈課題〉

国語Aは、中位層(5段階分析の3、4)が多く、基礎的基本的な学習内容の定着は概ね良好といえる。
国語Bでは、5段階分析の1の層が全体の14.5%と中でも8.6%が無答であるため、記述式の問題や思考力、表現力、判断力を育てる指導の在り方を日常レベルの授業改善に位置付け、家庭学習と連動を図る必要がある。分布が二極化しているため、個に応じた指導の充実だけでなく、相互のよさを生かす練り合いの授業を更に充実していく必要がある。

【中学校】
〔国語A〕



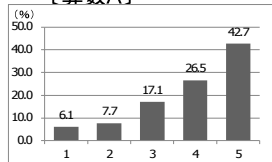
〔国語B〕



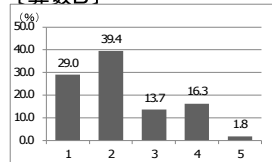
〈課題〉

国語Aは、上位層(5段階分析の4、5)が全体の83%を占めており、基礎的基本的な学習内容の定着は非常に良好といえる。
また、国語Bでは、おおむね良好な度数分布を描いているが、無答が全体で3名、1問正解が2名には一対一で指導を行い、問題の解き方や書き方を丁寧に指導する必要がある。

〔算数A〕



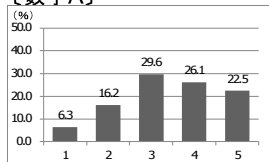
〔算数B〕



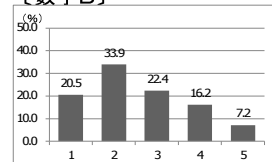
〈課題〉

算数Aは、5段階分析で4、5(その内5が50%)の児童が81%を占め、基礎的基本的な内容は非常に良好といえる。
算数Bでは、算数Aで得られた知識が生かされているとは言えない状況が出ている。5段階分析で1、2が全体の80%を占めているのは、こういった要因からなのか、町レベルで草の根から要因を探り、授業改善を行う必要を町内で早急に共有する必要がある。

〔数学A〕



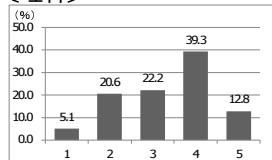
〔数学B〕



〈課題〉

数学Aは、5段階分析で3、4、5の層が全体の84%を占める等、基礎的基本的な学習内容の定着は概ね良好といえる。今後は、5段階分析で1、2の層への繰り返し指導を行い、確実な定着を図る必要がある。
数学Bでは、小学校と同様に、5段階分析で1、2が全体の61%を占めている。

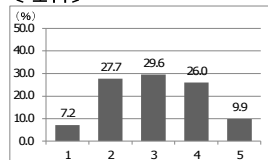
〔理科〕



〈課題〉

5段階分析で3、4の層が、全体の72%を占めており、おおむね良好な分布を見せている。しかし、2の層が24%となっており、基礎的基本的な内容や実験方法等の定着を図る必要がある。
また、4の層の児童を5に伸ばすべく発展的な内容の指導を充実させる等の両面の指導を今後図る必要がある。

〔理科〕



〈課題〉

5段階分析で2、3、4の層が91%とおおむね良好であるといえる。しかし、小学校同様に2の層の生徒の指導をどうするか課題は焦点化されているので、小中一貫したテーマで課題分析と指導法について検討する必要がある。

【改善策】

(共通)

- 授業充実3ポイント(目標の明確化、山場の設定、確実な見届け)の日常化
- 山場を充実させるための①主体的で効果的な目標設定、②リヴォイシングを含めた教師の効果的な発問、問い返し、聴き取り等の指導法の定着③書く活動の日常化(めあてやまとめを子ども自身の言葉で)
- デジタル教科書を中心としたICT利活用の充実
- 学力向上に資する家庭学習の在り方
- 学力把握週間及び事前指導、補充指導週間の設定

(国語)

- 単元を貫く言語活動を意識した単元レベルでの授業づくりの充実
- 他教科につながるような、作文、小論文、レポート等の効果的な指導法の充実

(算数)

- 児童生徒の主体的な活動に資する導入(10分以内)の充実
- 相互の思考過程学習指導法の充実

(理科)

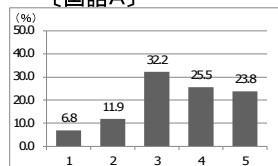
- 実験、観察活動の確実な実施と定着
- 実験結果や観察結果を根拠にした説明活動や振り返り活動の充実

【別紙様式】

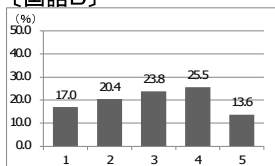
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について (正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

天城町教育委員会

【小学校】 〔国語A〕



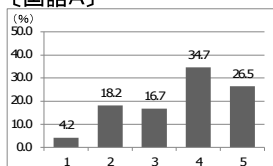
〔国語B〕



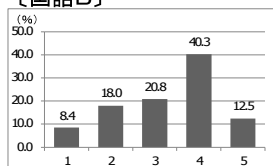
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A問題において4段階や5段階の割合が高くないため、本町の子どもたちは、知識及び活用ともにやや低い状況にあると言える。
・観点別にみると、書く能力に課題がみられ、目的や意図に応じ、内容を把握して書いたり、文章と図とを関連付けて、自分の考えを書くことに苦手意識をもっており、無答率も高い。

【中学校】 〔国語A〕



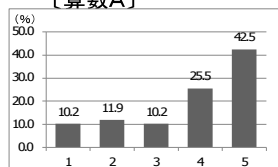
〔国語B〕



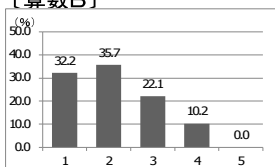
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A問題、B問題ともに4段階の割合が高く、本町の生徒は、5段階の層が薄いため上位層の伸び悩みがみられると同時に、1段階、2段階の生徒も2割以上いることから、学力の二極化が進んでいるといえる。
・観点別に見ると、書く能力に課題が見られ、特に記述式の解答を苦手にしており、無答率も高い。

〔算数A〕



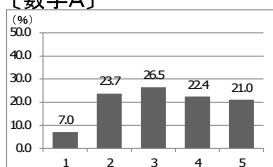
〔算数B〕



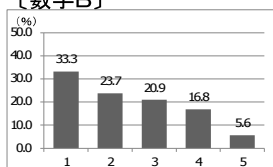
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A問題において約7割が4段階や5段階の割合であるのに対し、B問題において下位層が多く、上位層が少ない状況にあるため、本町の児童は全体的に活用に関する力が不十分である状況にあると言える。
・基礎的・基本的な知識・技能の定着に二極化の傾向が見られ、習熟のための個に応じた指導が求められる。

〔数学A〕



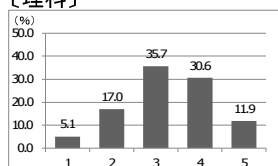
〔数学B〕



〈課題〉

・5段階の分布状況については、A問題、B問題ともに上位層の割合が非常に低く、下位層の割合が高くなっている。
・基礎・基本の定着がなされていないために、無答率の割合が高い。
・領域別に見ると「数と式」に課題が見られ、数量の関係を文字式に表すことに課題が見られる。

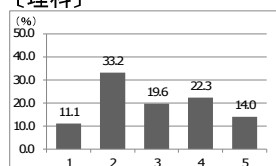
〔理科〕



〈課題〉

・5段階の分布状況については、3段階・4段階の児童が多い傾向が見られる。中位層への指導の充実が必要な状況にある中、下位層の割合も2割程度いることから、基礎的・基本的な指導の充実も必要な状況にある。
・選択式や短答式の解答方法に比べ、記述式の問題形式の正答率が低いことから、授業の中で観察・実験の結果を自分の言葉でまとめるなどの指導が必要である。

〔理科〕



〈課題〉

・5段階の分布状況について、2段階の生徒が多い傾向が見られ、本町の生徒は、基礎的・基本的な内容の確実な定着が必要な状況があると言える。
・他者の考察を検討して改善し、実験結果を正しく説明することについて課題が見られる。

【改善策】

○ 今後、以下示す事項について、本町の学力向上施策の実施の重点と取り扱うようにしていく。

〔小学校〕(国語科) ・文章を自分で読み取り、自分の考えを持たせる指導の充実
・叙述に即して、根拠(理由)を示し、自分の考えを書かせ、発表させる授業の充実
(算数科) ・自力解決をし、相互解決を図り、練習問題まで完結させる授業の工夫
・授業における算数的活動の充実を図った授業の工夫
(理科) ・観察・実験のデータを分析し、根拠や理由を明らかにして考えを説明する活動の重視

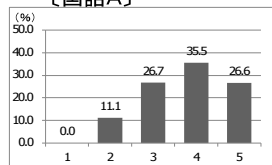
〔中学校〕(国語科) ・目的に応じて、情報を取り上げ方や書き方を工夫して書く指導の工夫
・目的に応じて、文章の特徴を捉える指導の工夫
(数学科) ・自力解決をし、相互解決を図り、練習問題まで完結させる授業の工夫
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動の重視
(理科) ・観察・実験のデータを分析し、根拠や理由を明らかにして考えを説明する活動の重視

【別紙様式】

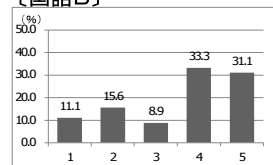
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

伊仙町教育委員会

【小学校】
〔国語A〕



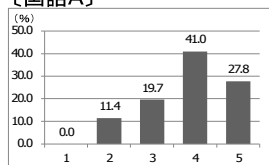
〔国語B〕



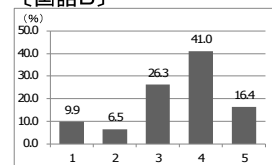
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A問題もB問題も5段階より4段階の割合が多い傾向が見られ、本町の子どもたちは80%以上正解でき5段階の層が少なく、上位層の児童の伸び悩みが見られる。
・観点別に見ると、書く能力に落ち込みが見られ、文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くことに課題がある。

【中学校】
〔国語A〕



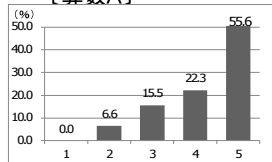
〔国語B〕



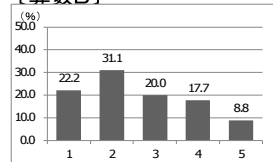
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A問題もB問題も5段階より4段階の割合が多い傾向が見られ、本町の子どもたちは5段階の層が少なく、上位層の生徒の伸び悩みが見られる。
・観点別に見ると、書く能力に落ち込みが見られ、複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。

〔算数A〕



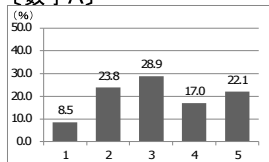
〔算数B〕



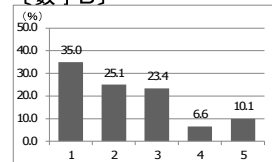
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A問題では約8割が4・5段階であることに對して、B問題では2段階の児童が増える傾向が見られ、本町の子どもたちは身につけた基礎的・基本的な知識を活用に生かすことが十分にできない状況にあると言える。
・日常的な事象を数理的に捉え、筋道を立てて考えながら、理由を明確に表現することに課題がある。

〔数学A〕



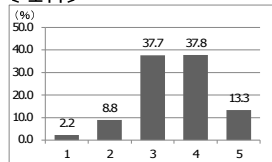
〔数学B〕



〈課題〉

・5段階の分布状況については、A問題の結果から基礎的・基本的な内容の定着が十分に図られていないことが分かる。B問題も1・2の割合が6割近くを占めており、活用力が身に付いていない生徒が多くみられる。
・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

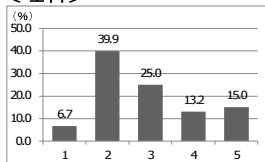
〔理科〕



〈課題〉

・5段階の分布状況については、3・4段階の児童が多い傾向が見られ、下位層に加えて中位層への指導の充実が必要な状況にあると言える。
・実験・観察により調べたことを考察したり説明したりすることに課題がある。

〔理科〕



〈課題〉

・5段階の分布状況については、2段階の生徒が多い傾向が見られ、本町の子どもたちは、基礎的・基本的な内容の確実な定着が必要な状況にあると言える。
・実験・観察により調べたことを考察したり説明したりすることに課題がある。

【改善策】

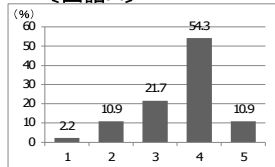
- 今後、以下示す事項について、本町の学力向上施策の実施の重点として取り扱うようにしていく。
- (共通) 授業充実の3ポイント(「目標の明確化」「山場の工夫」「確かな見届け」)を踏まえた授業づくり
 - 一人一人の実態に応じた個別指導の充実
 - (国語科) 字数や内容に関する条件を踏まえて、自分の考えを書く力を高める指導の充実
 - 単元を貫く言語活動の適切な設定及び効果的な指導の充実
 - (算数科) 導入部分を短くし、まとめや習熟を図る時間の確保
 - 自分なりの考えを説明したり、互いの考えを比較・分類・関係付けたりする活動の重視
 - (理科) 観察・実験のデータを分析し、根拠や理由を明らかにして考えを説明する活動の重視
 - 字数や内容に関する条件を踏まえて、自分の考えを書く力を高める指導の充実

【別紙様式】

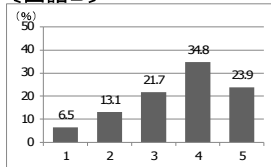
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

和泊町教育委員会

【小学校】
〔国語A〕



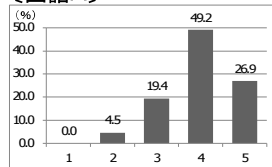
〔国語B〕



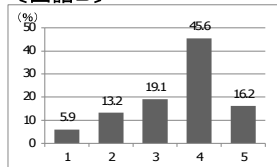
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題は中位層が多く高位層が少ない。B問題においては、分布は全国・県と同傾向だが、個人差が大きく、全体的には通過率を押し下げている。
- ・A問題は、言語事項の技能面に関して通過率が高い。効果的な読み方、文章構成に関する知識や理解に課題があり、特に「読むこと」の補充指導が必要である。
- ・活用力の向上のために、より個に応じた指導が必要である。

【中学校】
〔国語A〕



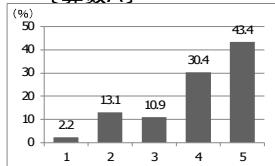
〔国語B〕



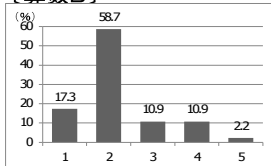
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A・B問題共に中位層が多く高位層が少ない。特にA問題においてその傾向が強く、全体的には通過率を押し下げている。
- ・A・B問題共に、語彙量や文法理解不足が要因の不正解が多い。読書や家庭学習とからめた対策が必要である。
- ・無解答率は個人差はあるが、全国・県と比べて高くない。

〔算数A〕



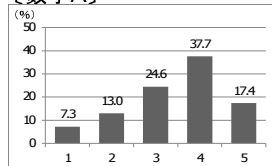
〔算数B〕



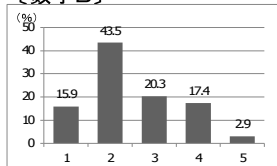
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、B問題において低位層が多く、高位層が少ない傾向が見られ、本町の子どもたちは全体的に活用に関する力が不十分である状況にあると言える。
- ・図形の約束や性質を正しく理解した思考的操作の定着率が低く、算数的活動及び適応問題の充実・確保が必要である。
- ・数学的思考を要し表現する問題に対する無解答率は低くなっている。

〔数学A〕



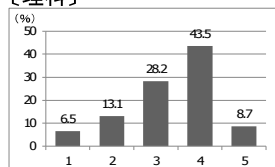
〔数学B〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題において中位層が多く、B問題において低位層が多く、共に高位層は少ない。知識・技能の定着、活用力共に課題がある状況であると言える。
- ・図形、資料の活用理解・技能に特に個人差が大きく、習熟のための個に応じた指導が求められる。

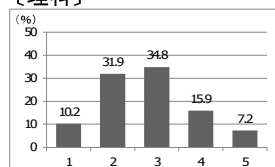
〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、中位層が多く、高位層が少ない傾向が見られ、本町の子どもたちは全体的に知識に関する力が不十分である状況にあると言える。
- ・選択式の問題の正答率が低くなっており、知識として定着していない状況が伺われる。長期記憶を育てる取組の改善が必要である。
- ・国語、算数に比して、無解答率が高い。

〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、低位層が多く、高位層が少ない傾向が見られ、本町の子どもたちは全体的に活用に関する力が不十分である状況にあると言える。
- ・化学、生物分野の定着が低く、特に科学的思考を要する問題に難がある。また、選択式の問題の正答率が低くなっており、知識として定着していない状況が伺われる。

【改善策】

○ 今後、以下に示す事項について、本町の学力向上施策の実施の重点として取り扱うようにしていく。

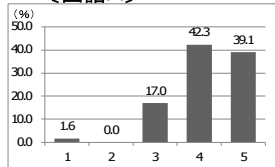
- 〔小学校〕(国語科) ・教材文の読みと言語活動を相互補完的に高める単元を貫く言語活動の設定の工夫
・「思考語彙」を位置付けた自分の考えを形成させる時間の確保と、他者との交流を通した練り上げの場(山場)の工夫
(算数科) ・個別の評価規準に基づく、基礎的・基本的事項の習熟及び発展的内容の積極的取扱い
・図形領域の算数的活動の工夫及び言語活動を確実に位置付ける授業改善
(理 科) ・子ども一人一人の観察、実験の保障と、まとめや練習の時間確保による知識の定着
- 〔中学校〕(国語科) ・基礎的・基本的知識や技能の反復による習熟、並びに、読書や家庭学習との効果的連動
・学習者主体の課題設定による「分からない」を、他者との交流を通して分析・追究する時間を確実に位置付けた授業実践
(数学科) ・個別の評価規準に基づく、基礎的・基本的事項の習熟及び発展的内容の積極的取扱い
・図形の性質の理解に基づき、証明のための思考操作を表現する活動の重視
(理 科) ・学習者主体の課題設定の工夫と、結果を分析し、解釈する場面における言語活動の時間を確実に位置付けた授業実践

【別紙様式】

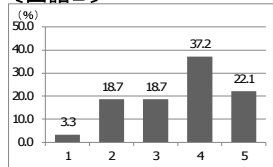
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

知名町教育委員会

【小学校】
〔国語A〕



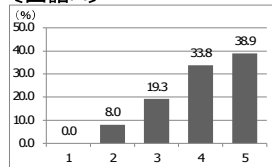
〔国語B〕



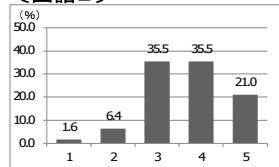
〈課題〉

・5段階の分布状況について、A問題の4・5段階は、81.4 %だが、B問題の4・5段階は59.3%である。このことから、基礎・基本は、身に付いているが、それを活用する力が十分ではないと言える。
・自分の考えを伝えるため、図やグラフ等を効果的に用いたり、関連付けて自分の考えを書いたりすることに課題がある。
・これまでと同様に、目的や内容に応じて適切な選択肢を判断することに課題がある。

【中学校】
〔国語A〕



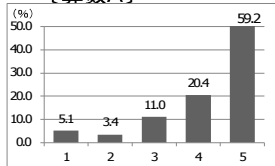
〔国語B〕



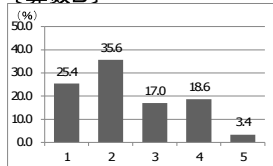
〈課題〉

・5段階の分布について、A問題では、4・5段階が73%いるのに対し、B問題では56%になるため、活用する力を高めることが大きな課題であると言える。
・伝えたい事柄が効果的に伝わるように書くことや、根拠を明確にして書くことに課題がある。
・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことや単語の類別について理解することに課題がある。

〔算数A〕



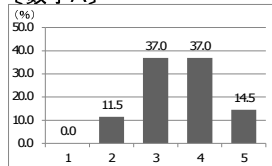
〔算数B〕



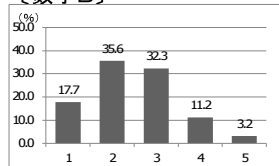
〈課題〉

・5段階の分布状況について、A問題の4・5段階は79.6%だが、B問題では1・2段階が61%となり、活用力に課題があると言える。
・図形の構成を図形の特徴と関連付けて捉えることに課題があり、作図の方法やその説明等を考させる指導の充実が求められる。
・「四捨五入」「切り捨て」「切り上げ」の意味と処理の仕方についての理解を深め、結果の解釈や判断が適切にできるようにすることが課題である。

〔数学A〕



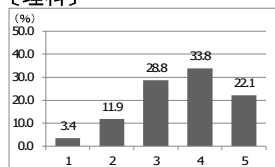
〔数学B〕



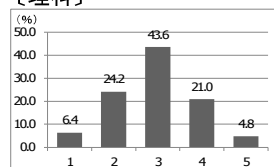
〈課題〉

・5段階の分布状況について、B問題では、1・2段階が53.3%であり、この段階にいる子どもに、個別指導等を充実させる必要がある。
・数量関係を文字式に表すことや連立二元一次方程式をつくることが課題である。
・平面図形と空間図形を関連付けて考察することや問題の解決方法を数学的に説明することが課題である。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

・5段階の分布状況について、3～5段階の割合が高いが、1・2段階も約15%となっている。活用に関する問題では、記述式の正答率がやや低くなっている。
・月や星座の動きを捉えるために、方位や変化等の適切な記録や知識の定着の課題がある。
・顕微鏡の適切な操作方法や植物の成長と条件に関する知識や考察を深めることに課題がある。

〈課題〉

・5段階の分布状況について、1・2段階が30%であり、A・B問題ともに平均以下の生徒に対する対応が今後の課題である。
・観察・実験の結果を基に、自分の考えを説明したりや他者の考えを検討したりする問題に課題がある。
・課題に対して、予想や仮説を立て、それを検証する実験の計画することに課題がある。

【改善策】

〔小学校〕 (国語科)	・目的や意図に応じて、聞き方を工夫したり、自分の考えを整理して話したり、書いたりする活動の工夫や指導の充実
(算数科)	・文章に書かれている話題や理由や根拠となる内容、構成の仕方や叙述に着目させ、要旨を捉えさせる指導の充実
(理 科)	・前提となる考えや理由などの根拠を明らかにして、論理的に考えさせたり説明させたりする活動の充実
	・観察・実験のデータを分析し、根拠や理由を明らかにして考えを説明する活動の重視
	・対象や目的に応じて実験・観察器具を適切に操作したり、学習を通して獲得した知識を日常生活に適用させて考えさせる活動の充実
〔中学校〕 (国語科)	・書いた文章を互いに読み合うなどの活動により、効果的な表現の仕方や根拠を明確にして自分の考えを書く指導の充実
(数学科)	・辞書で語句の意味等を調べる活動や文脈に即した適切な言葉や目的に応じた効果的な表現について検討させる活動の充実
(理 科)	・事柄や数量の関係を文字式に表す活動や事柄が成り立つ理由を説明する活動の充実
	・図形の性質に着目させ、数学的な表現を用いて問題解決の方法を説明する活動の充実
	・学習した知識・技能を活用し、自分の考えを書いたり、説明したりする場面を設定した学習活動の充実
	・予想や仮説を設定し、検証する実験を計画できるようにすることで、科学的に探究する能力や態度、科学的な思考力・判断力を育成することを重視

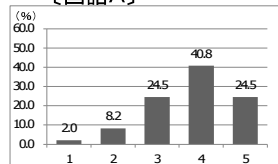
【別紙様式】

平成27年度全国学力・学習状況調査結果について (正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

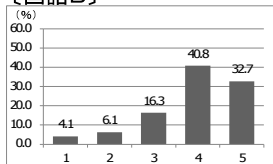
与論町教育委員会

【小学校】

〔国語A〕



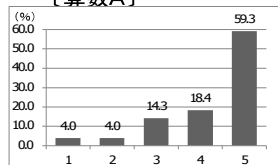
〔国語B〕



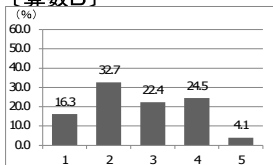
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、国語Bはよい状況と言えるが、国語Aにやや課題があると言える。
- ・国語Aについては、文の中における主語を捉えるなど言語についての知識・理解及び技能の基本的な内容をもう一度おさえたり、新聞のコラムを読んで表現の工夫を捉えたりする学習が求められる。
- ・国語Bについては、目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く力をつけさせることが求められる。

〔算数A〕



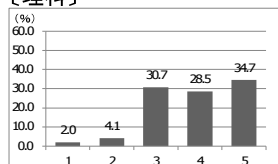
〔算数B〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、算数Aはよい状況にあると言えるが、算数Bに課題があると言える。
- ・算数Aについては、計算結果のおよその大きさを捉えたり、分度器の目盛りを読み180度より大きな角の大きさを求めたりする力が求められる。
- ・算数Bについては、数量や図形についての知識・理解及び技能に関わる内容の正答率が低かったため、重点的な指導が求められる。

〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、よい状況にあると言える。
- ・方位を判断するために、観察した事実と関係づけながら情報を考察して分析したり、星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身につけたりすることが求められる。
- ・全体的に観察を必要とする学習内容の定着に課題がある。

【改善策】

○今後、以下示す事項について、本町の学力向上施策の実施の重点と取り扱うようにしていく。

〔小学校〕(国語科)

- ・言語についての知識・理解及び技能の基本的内容の指導の充実
- ・新聞記事などを用いて表現の工夫を捉えたり、目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら書いたりする指導の充実

(算数科)

- ・計算結果の概算や分度器の使い方の指導の充実
- ・数量や図形についての知識・理解及び技能に関わる内容の指導の充実

(理科)

- ・対象や目的に応じて観察・実験器具を工夫したり操作したりする活動の重視
- ・観察・実験を重視した学習指導の充実

〔中学校〕(国語科)

- ・表現の技法や伝えたい事実や事柄が明確になるように文章の構成を考えて書く指導の充実
- ・根拠を明確にして、自分の考えを書く活動の重視

(数学科)

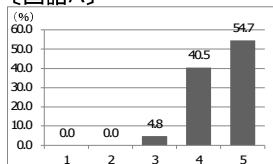
- ・二元一次方程式の学習指導の充実
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動の重視

(理科)

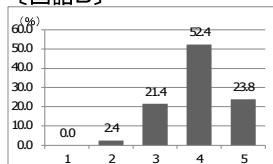
- ・水溶液等を化学式で表す学習の重視
- ・観察・実験を重視した授業づくりと実験方法を検討したり説明したりする活動の充実

【中学校】

〔国語A〕



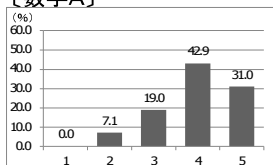
〔国語B〕



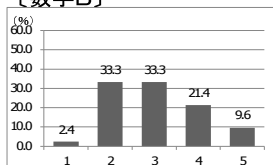
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、国語Aはよい状況と言えるが、国語Bにやや課題があると言える。
- ・国語Aについては、表現の技法を理解したり、伝えたい事実や事柄が明確になるように文章の構成を考え書いたりする力が求められる。
- ・国語Bについては、文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く力が求められる。

〔数学A〕



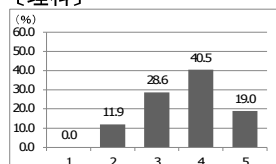
〔数学B〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、数学Bに課題があると言える。
- ・数学Aについては、二元一次方程式の解を座標とする点の集合が、直線として表すことができるという内容の理解が不十分であり、復習が求められる。
- ・数学Bについては、与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理したり、結果や判断の理由を数学的な表現を用いて説明したりする力が求められる。

〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、よい状況にあると言える。
- ・化学式についての復習が求められる。
- ・他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明したり、他者の考えた実験の方法を検討して改善し、適切な方法を説明したりする内容に課題がある。